

議案に対する

討

議

平成27年度予算に
対する討論

佐藤和夫議員（改革クラブ）

反対 平成27年度予算のうち、地域情報通信基盤設備費の部分について、反対の立場から討論を行う。

いちごてればは、資本金4億1000万円、真岡市においても1200万円を出資し、平成4年7月に開設されたが、昨年7月に運営が大変難しくなり、昨年10月19日に破綻してしまう。その理由は、破綻した段階において真岡市全体で約11・2%しか加入者がいなかったからである。

そのような中、10月24日の臨時議会では、2億8173万8000円の補正予算を可決して、11月から市で運営したいということであった。さらに、平成27年の予算支出の総額は、2億5400万円を予定していることだが、余りにも膨大過ぎるため、反対をするものである。

鶴見 真議員（真政クラブ・公明）

賛成

平成27年度予算について、もおか未来、真政クラブ・公明の2会派を代表して賛成の立場から討論を行う。

平成27年度当初予算は、井田市政にとって、新たに策定した第11次市勢発展長期計画の初年度となるが、「日本一安心なまち」を指し、市長公約に基づく施策を着実に実現してきていること、更には市議会での一般質問、会派の建議要望、市長との話し合い事業における市民の要望などにも真摯に耳を傾け、実行に移していることに対して高く評価する。

第11次市勢発展長期計画の施策に沿って所見を述べる。

「暮らしやすさが実感できるまちづくり」では、地域情報通信基盤設備事業において、ケーブルテレビの番組充実化や指定管理者制度の導入により、安定した運営が行われるよう、期待する。

「学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり」では、小・中学校の教育において、「小学校外

国語活動支援員」「特別支援教育支援員」および「複数担任制のための非常勤講師」が、引き続き配置されるとともに、学校図書館専任司書についても、小学校のモデル校に配置されるなど、きめ細かな指導の充実が図られていることに対し高く評価する。

「思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり」では、保健医療において、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種については、全額公費負担により継続実施するとともに、乳幼児と小児児童のインフルエンザ、1歳から就学前のおたふくかぜの予防接種など、任意接種についても一部助成が行われていることを高く評価する。

「自然と潤いがある安全快適なまちづくり」では、安全・安心のまちづくりにおいて、防災対策として、防災用監視カメラの設置や避難所用防災備蓄倉庫等の整備が推進されるとともに、引き続き、防火水槽および消火栓の設置に取り組まれるなど、消防防災施設の充実・強化が図られている。

「地域と産業が調和する活力あるまちづくり」では、観光の振興において、「SL」もおか木綿」井

頭温泉」等を柱として、観光のまちづくりが重点的に行われていることに対し高く評価する。

「市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり」では、市民誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し、引き続き、「みんなでつくる地域づくり事業」の推進や人口減少問題などへの確に対応するための地方版総合戦略の策定など、市民と協働によるまちづくりが、着実に進展していくよう念願する。

「効率的で市民にわかりやすいまちづくり」では、少子高齢社会の進展などにより、国や地方の財政は、今後、ますます厳しさが増すことが予想されるが、行政改革の着実な推進と行政評価システムの活用等により、事業の重点化を図りながら、市民にとってわかりやすく効率的な行政運営に努められていることに対し、高く評価する。なお、新庁舎建設については、本年度に策定する基本計画に基づき、免震性と機能性を兼ね備えた本市の拠点施設として、計画期間内に完了するよう要望する。

事業執行に当たっては事業の必要性、優先性、緊急性などに十分留意しながら、最少の経費で最大の効果を上げるべく全職員が一丸となって推進されるよう期待する。

飯塚 正議員（日本共産党）

反対

平成27年度予算について、反対の立場から討論を行う。

一般会計では、歳入で、個人市民税が増加していること、法人市民税が減額となっていることに反対である。歳出では、自衛官募集事務を行っていること、こども医療費助成を高校生まで拡充しないこと、企業立地促進事業費補助金等の予算を計上していること、生活道路整備に遅れがあること、小・中学校の施設整備や修繕等の予算が少ないこと、指定無形民俗文化財後継者育成補助金の補助額が少ないこと、地域コミュニティ事業活動奨励費の交付額が少ないことなどに反対である。

特別会計では、国民健康保険・介護保険会計で、それぞれの保険料が高水準に至っていること、後期高齢者医療会計で、医療行政を国の言いなりで進めていること、IC周辺開発事業会計で、第5工業団地の分譲率が約7割にとどまっていることに反対である。

公共下水道事業、農業集落排水事業、水道事業会計では、使用料金に消費税を上乗せしていることに反対である。

高橋昇議員（夢ネット21）

賛成

平成27年度予算について、夢ネット21の会派を代表して、一部要望を添えて、賛成の立場から討論を行う。

本年度の事業では新規事業も含め幅広い分野での施策に、市長の意気込みと優しさが随所に感じられる。

これより順次所見を述べていく。初めに、「暮らしやすさが実感できるまちづくり」では、区画整理の推進や都市計画道路長田・中線の延長事業、真岡ケーブルテレビ番組の充実を図り、安定した運営に取り組むよう期待する。

「学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり」では、学校図書館の充実など、学力向上に大きく前進するものと期待する。また、統廃合による改修や増築工事、老朽化に伴う小中学校のトイレの整備について、本年度に設計が着手されることは、子供たちも喜んでることと思う。また、旧長沼北小について、うまく利用はできないものか、考えていただきたい。まちなか保健室については行政面でPRを図り、さらなる利用者が増えることを期待する。

芳賀赤十字病院の建設について

は、予定どおりの平成30年4月に開院ができるよう要望する。

次に、「自然と潤いがある安全快適なまちづくり」について、安全な水道水の配水管の整備や、完全な安定供給がなされることについて期待する。

ごみ対策につきましては、引き続き減量化と資源化の促進を掲げているので、今後は、ごみの散乱による衛生面での配慮も含め、ステーションの常設も考えてほしい。

次に、「市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり」について、人口対策事業では、地方創生に取り組むための総合戦略プランを作成すること、大いに期待をしている。また、縁組センターの最大限の利用を要望する。

最後に、「効果的で市民にわかりやすいまちづくり」については、庁舎建設事業の基本設計の策定に着手することなので、早急に進め、予定どおり平成31年度中の完成をしていただきたい。

今後の行政面においては、多くの課題が山積しており、ぜひ本市の明るい将来のため、日本一安心なまちの実現に向けて、公平で公開な真岡市を掲げ、推進していくことを要望する。

大根田悦夫議員に出席停止の懲罰

大根田悦夫議員に対する懲罰の件

大根田悦夫議員は、2月26日の本会議における質疑・一般質問において、冒頭、不穏当な発言をしたことから、齊藤重一議長は、議会運営委員会にその取扱いを諮問しました。

議会運営委員会では、「不穏当な発言と認め、その発言を取り消させるべき」との結論に至りました。これを受け、

齊藤重一議長は本会議で発言の取り消しを命じました。しかし、大根田悦夫議員はその

発言の取り消し命令を拒否しました。これを受け、左に示したように懲罰動議が提出され、懲罰特別委員会が設置されました。

懲罰特別委員会では、「大根田悦夫議員は過去においても、幾度となく不穏当な発言や規律に反する行為をし、議長から嚴重注意を受けていること

を踏まえ、大根田悦夫議員の言動は、議場の秩序を乱し、議会の品位を傷つけるものであり、市民の議会に対する信頼を損なうものである」との理由から、「出席停止（1日）」との結論に至りました。

13日の本会議において、懲罰特別委員会委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、懲罰が可決（賛成22、反対4）されました。大根田悦夫議員は議長から出席停止の懲罰を宣告され、直ちに退場を命じられました。

大根田悦夫議員に対する懲罰動議

大根田悦夫議員は、2月26日の本会議における一般質問において、冒頭、不穏当な発言をして、議長からその発言の取り消しを命じられたにもかかわらず、拒否したことは誠に遺憾である。

大根田悦夫議員の行為は、地方自治法第129条第1項及び真岡市議会会議規則第54条第1項に違反するものであり、また、過去においても幾度となく不穏当な発言や規律に反する行為をして、議長から嚴重注意を受けていること等を踏まえると、懲罰を科すのが相当と思慮する。

よって、地方自治法第135条第2項及び真岡市議会会議規則第151条第1項の規定により大根田悦夫議員に対し懲罰を要求するものである。

